
介護福祉事業部



愛生訪問看護ステーション

管理者 七村 裕美子

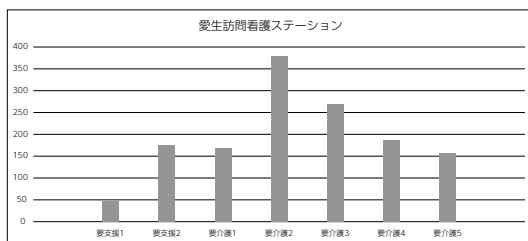
特徴

団塊世代が75歳以上になる2025年も目前に迫っています。当訪問看護ステーションの活動エリアは、市内でも高齢化率が3番目に高く、単身高齢者数も増加しています。そのような地域の特徴とニーズを捉え、利用者様が住み慣れた居宅で24時間365日安心して療養生活を送れるよう支援しています。在籍する看護師7名・理学療法士4名・作業療法士1名・言語聴覚士2名が、多職種連携を図りながら在宅療養生活をサポートしています。

今後の目標

利用者様が住み慣れた環境で、安心して自分らしい生活を送れるよう、在宅医療チームの一員として看護・リハビリの専門性を発揮し療養生活を支えます。また、どのような状況にも対応できる様に、安定した人材の確保と質の高い看護の提供を目指し、教育体制の強化を図ります。地域包括ケアシステム内のネットワークづくりに尽力し、多職種・多機関との連携が円滑に図れるよう、医療と介護の橋渡し役を担っていきます。

2021年利用者状況



あいせいケアステーション

管理者 船場 良介

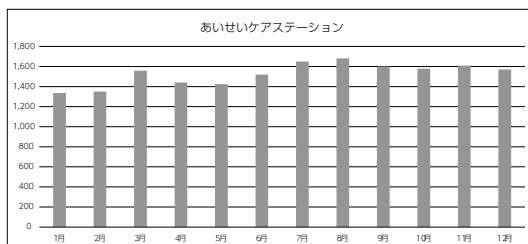
特徴

「住み慣れた自宅で安心して生活したい」と願われる方に身体介護や家事援助まで幅広くサービスを提供して、安心して在宅生活ができるように支援しています。また、喀痰吸引や経管栄養の処置が必要な方の利用も可能です。さらに、通院介助や共有部分の清掃等、介護保険外のサービスも実施しています。

今後の目標

法人内外のケアマネジャーと連携を図り、利用者の方に信頼されるような介護を提供していきます。また、介護保険サービスは勿論、障害福祉サービス、自費サービス等の依頼は断らない体制を築き、居宅介護支援事業所から選んで頂ける事業所となり、地域の方へ多くのサービスが提供できるように努めていきます。

2021年利用者状況



あいせいデイサービスセンター

管理者 中野 正佐仁

▶ 特徴

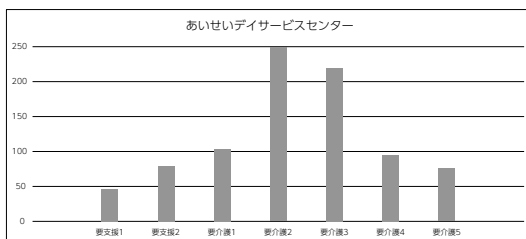
デイサービスとは日帰りで「食事」「入浴」「機能訓練」のサービスを受けられる場所です。家族のレスパイトケアと、要介護者の社会参加、心身機能の向上に役立ちます。“あいせいデイサービスセンター”では、「機能訓練」に力をいれており、パワーリハビリテーション機器での個別運動と、機能訓練指導員からの専門的リハビリやアドバイスをマンツーマンや少人数で取り組んでいます。屋外歩行訓練も積極的に行っています。男性も女性も分け隔てなく、自由闊達な雰囲気と熟練のスタッフが魅力です。

▶ 今後の目標

機能訓練を行うだけでなく、季節に応じたレクリエーションやモノづくり（切り絵や貼り絵等）を通じて、「楽しさ」を感じながら機能向上につながる生活の場として、地域に愛されるデイサービスを目指します。

感染対策を徹底し、スタッフ、利用者の皆さまが安心して利用いただける環境を整備していきます。

▶ 2021年利用者状況



愛生居宅介護支援事業所

管理者 今枝 敬典

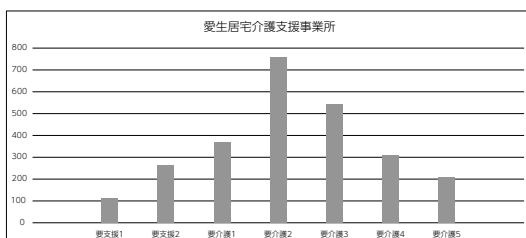
▶ 特徴

愛生居宅介護支援事業所は介護支援専門員9名、うち主任介護支援専門員7名の体制で運営しています。要支援者から中重度要介護者まで幅広く対応し、24時間の相談連絡体制を敷いています。早期介入、早期支援をモットーに医療介護の多職種協働の要として質の高いケアマネジメントを提供し、信頼され愛される事業所として地域福祉に貢献したいと考えています。

▶ 今後の目標

介護保険制度の理念に則り、介護（支援）等が必要な人の尊厳を保持し、その置かれている環境等に応じて、能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう福祉系サービスと医療系サービスとが総合的かつ効率的に提供されるよう質の高いケアマネジメントを提供していきます。

▶ 2021年利用者状況



愛生訪問看護ステーション平安通

管理者 山田 真行

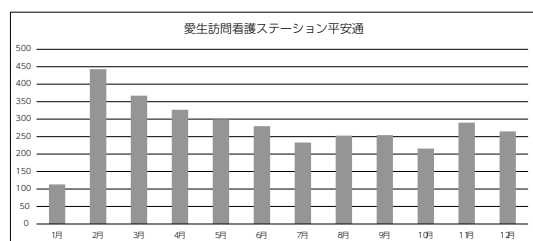
特徴

住宅型有料老人ホーム「こもれびの家平安通」と「愛生複合型サービスセンター平安通」の同一敷地内に併設されたステーションです。ここでは3つの特徴があり、一つ目は愛生複合型サービスセンター平安通の利用者へ訪問、2つ目はこもれびの家平安通に入居している方の訪問、3つ目は施設以外の方の訪問行を行っています。また、糖尿病療養指導士によるフットケアサロンを開設して、地域の方に訪問看護ステーションを認知して頂ける取り組みを行っています。

今後の目標

地域の方に愛生訪問看護ステーション平安通を知ってもらい、施設内の訪問看護だけではなく自宅への訪問看護も積極的に行って、地域に根付き利用者やその家族に信頼され、安心して利用し続けていただけるように努めていきます。また、法人内の連携は勿論、法人外の病院や居宅事業所と連携を強化して、「選んでもらえ、断らない訪問看護ステーション」を目指します。

2021年利用者状況



愛生複合型サービスセンター平安通

管理者 石原 友美

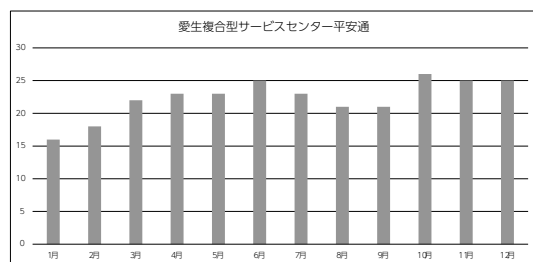
特徴

看護・リハビリの一体的なサービスを提供する看護小規模多機能型居宅介護であり、利用者の状態に応じたサポートを行っています。施設ではなく在宅の位置付けとなりますので、在宅で過ごされているようなホッとする安心感と利用者中心の温かい看護・介護を提供するように努めています。また、併設する訪問看護ステーションの看護師と連携していますので、看取りや医療処置の必要な方の対応も積極的に行っています。

今後の目標

同法人医療機関と連携しているため、緩和に特化した看取りを積極的に行っています。コロナ禍で医療機関でも面会制限がある中、当施設では家族の方に感染対策をしっかり協力して頂いた上で面会を許可しています。最期の大切な時間を大切なヒトと逢える環境を作り、可能な限り利用者やその家族の方の要望に沿ったケアに努めていきます。

2021年利用者状況



こもれびの家平安通

管理者 船場 良介

➤ 特徴

24時間常駐の職員による食事の提供や見守りサービスを受けられることや、併設の訪問介護や訪問看護などの介護保険サービスが受けられる施設となっています。要介護度の高い方でも長期的な利用が可能です、また、ベッドやテレビなどの必要な家具が備え付けであるため、引っ越しにかかる手間や費用が軽減され、スムーズな入居が可能になっています。

➤ 今後の目標

レクリエーションや季節のイベント等を充実して、入居者の方が楽しく快適に過ごして頂ける環境づくりを行っていきます。また、併設の事業所や地域のケアマネジャーと連携し、地域の介護拠点として地域の医療・介護に貢献していきます。